

丹後地域 リハビリ通信

第26号

～うさぎのプランコ～

編集/発行
丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com
<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページよりPDF形式でご覧いただくことができます

今年度目標

ニーズとのマッチング

行動目標

- ① 研修会においては、「即実践」に繋がるように支援を行うべく、アフターアンケートを実施する。
- ② 事例検討会においてもテーマを設ける
事例検討会テーマ **「じっとしてないで、輪(環境・人)の中心に飛び込もう！」**
- ③ 事例検討会においては、地域の困り事例をテーマにし、解決へ向けて多職種で検討する

地域リハビリテーション丹後圏域連絡会 開催の報告

日 時:平成 29 年 7 月 10 日(月) 午後 2 時～4 時
会 場:京都府丹後保健所 講堂

管内の地域リハビリテーション関係者など 24 名(14 施設)の方にご参加頂き、圏域連絡会を開催しました。

京都府リハビリテーション支援センター事業、丹後地域リハビリテーション支援センター事業についての報告を行いました。

また、「今後の丹後地域の地域リハビリテーションの推進」について各機関、団体からの現状と課題について報告を受け、情報共有と、相互理解を深めました。

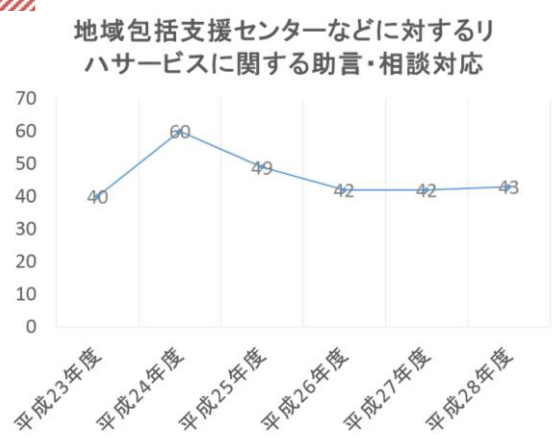
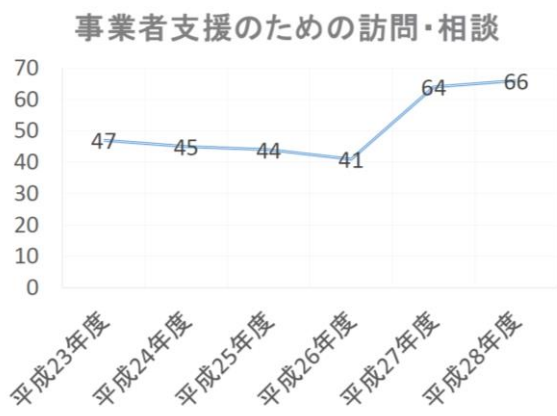


【地域リハビリテーション定義】

地域リハビリテーションとは、障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。



平成 23 年度からの相談件数の推移



平成 23 年度からの 6 年間の相談件数などの傾向

- 地域包括支援センター等への助言相談に関しては、地域ケア会議への参加を中心とし、近年は特別養護老人ホームや障害分野への介入も増加している。
 - 事業者支援のための訪問・相談は依頼件数が年々伸びており、居宅からの依頼件数と反比例し特養からの依頼件数が増加している。また相談内容は、主に運動指導や研修会講師依頼が増加している。
- 今後さらにリハセンの周知を行い、どのように活用していただくかを皆さんと一緒に検討していきたいと思います。

平成 29 年度看護・介護職ステップアップ研修

「日常業務にプラスαのリハビリを 2017」 今年も開催中！

今年度も「日常業務にプラスαのリハビリを 2017」というテーマで毎月(6 月～1 月)第 3 金曜日に研修会を開催しています。今年度は、リハビリストップに加え、丹後の地域の様々な職種が講師を務めます。全 8 回の講座を開催し「即実践！」をコンセプトに講師の皆さんに研修会の内容を考えていただき、行動に移せるような研修会を目指しています。

「学び」を、自分の職場・利用者さんに置き換え「実践」に繋がって欲しいと願います。

丹後地域リハビリテーション支援センター研修会
テーマ「日常業務にプラスαのリハビリを」 2017

今年度は、丹後の地域の様々な職種が講師をつとめ、毎月開催・全8回のリハビリ基礎講座を開催します。明日からの業務の中にリハビリの要素を取り込めるよう、基礎的な知識から実際の取り組み方法まで、丹後地域の様々な職種がわかりやすく講義します。参加費は無料で、1回からでも参加可能です。全8回参加された方には当センターより修了証を授与します。

6月16日(金) レクリエーション 講師：松本 健史 氏 松本リハビリ研究所 理学療法士	7月21日(金) 移 乗 講師：佐藤 一善 氏 丹後中央病院 理学療法士	8月18日(金) 「食べる」を支える 講師：辻 真理 氏 宮津武田病院 管理栄養士	9月15日(金) 排 泄 講師：調整中 宮丹後市やさか老人保健施設 ふくじゅ
10月20日(金) 認知症の方との関わり 講師：飯島 祐紀子 氏 はなまるデイサービス 作業療法士 中西 早苗 氏 特別養護老人ホーム島崎園 理学療法士	11月17日(金) ポジショニング 講師：小川 雄 氏 リハプラウなびさき 作業療法士 那須 彩乃 氏 特別養護老人ホーム養育の家 理学療法士	12月15日(金) 住環境と福祉用具 講師：曾根 佳子 氏 宮津訪問看護ステーション 理学療法士	1月19日(金) 歩 行 講師：梅田 匡純 氏 宮丹後市立西米病院 理学療法士

毎月(6月～1月)第3金曜日 午後6時30分～7時30分開催
会場：公益財団法人 丹後中央病院 ふたばホール

アフターアンケート へのご回答、ご理解・ご協力お願いします。

今年度、「即実践！」をコンセプトに研修会を開催しています。皆さんが、様々な研修会に参加しても、なかなか現場の中で 即やってみよう！ と、なれない現状があると良く伺います。アフターアンケートを行うことで、どれくらい実践できているのか？出来ていないのか？の現状の把握及び講師側のフィードバックになるとともに、研修会参加者の皆さんの現状の振り返りにもなればと実施しています。

ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

丹後地域リハビリテーション支援センター研修会 開催の報告(第1回～第2回)

第1回「レクレーション」

平成 29 年 6 月 16 日(金)開催

講師: 松本 健史 氏

(松本リハビリ研究所 理学療法士)

78 名の方にご参加いただきました。



研修会直後アンケートより

【今回の研修で一番印象に残ったことは？】

新聞紙でのレク	18
解剖学で座位(仙骨・坐骨座り)	6
舟こぎ体操	6
坐骨座りで排泄ケアにもなる!	5
足踏みしりとり (二重課題)	4
結髪・結帯動作	3
手を伸ばすことがいろんなことに繋がっているということ	3

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

新聞レク	14
坐骨座り(日頃している施設での体操を坐骨すわりで実践)	11
結髪・結帯動作の練習	7
手を伸ばす動き・肩甲骨体操(舟こぎ体操)	7
足踏みしりとり(二重課題)	3
転倒予防の体操を取り入れたいと思う	2

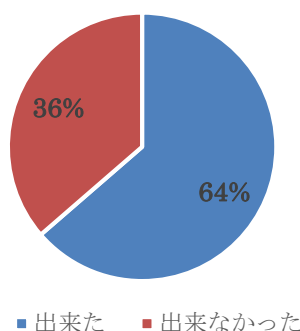
【職場で困っていることは何ですか？】・・・回答を、松本講師に伺いました!!(ホームページに掲載します)

- ・マンネリ化 ⇒ 普段のレクや体操にプラスワンをしてみてください。例)+拍手。+新聞。+ペットボトルなど
- ・認知症の方が増え関わり方に困っている(帰宅願望) ⇒ ここが居場所だと感じていないのでは? 人は、最後まで居場所と役割を求め続ける生き物です。その方の居場所と役割づくりを考えてみてください。
- ・ご利用者が飽きている⇒ 飽きているからやらないでなく、日々運動・交流などを大切に考えてみてください。
- ・レクをする時間が取れない⇒ 日課の中に少し身体を動かす、話す、笑う、歌う時間を作ってみてはいかがでしょうか?

第1回アフターアンケート結果(抜粋)

(この結果の詳細につきましては、全ての研修終了後にうさぎのプランコ号外にてお知らせします。)

研修会后、即実践できましたか?



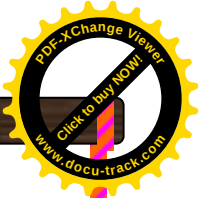
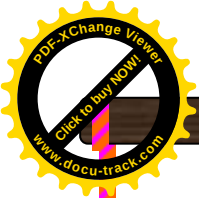
【なぜ、実践出来なかったか理由をお聞かせください。】

- ・実践する機会がない ・ 時間がとれなかった。
- ・これからレクレーションを行う機会があれば実践したいと思います。

【今後、どうすれば実践できると思いますか？】

- ・レクの意義を職員の皆で考える。あえて時間を作る。

自分の業務を振り返り、次の実践・行動に
繋げていききっかけになって欲しいと願います。



第2回 「移 乗」

平成 29 年 7 月 21 日(金)開催

講師: 佐藤 一喜 氏

(丹後中央病院 理学療法士)

79 名の方にご参加いただきました。

研修会直後アンケートより

【今回の研修で一番印象に残ったことは？】

3つのポイント+α	4
スライディングボードを利用しての移乗	4
準備と声かけ	3
基本の大切さの再認識	2

【職場で今困っていることは何ですか？】

・・・回答を佐藤講師に伺いました!!

(ホームページに掲載します)

- ・重度の方の移乗 ・身長差
- ・体型の大きい方、体重の重い方の介助



スライディングボードやリフターの導入をお勧めします。是非、職場で話し合ってみてください。



【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

声かけ	7
両膝内側で下肢を支える介助方法	3
坐骨仙骨あたりで支える	3
3つのポイント+α	2
肩甲骨を持って立ってもらうこと	2
立ち位置	2
移乗の仕方	2
膝を使うこと	2

移乗動作の介助ポイント 3つ+α



①車椅子の位置と介助者の立ち位置
⇒車いすはベッドの30° 辺り 前に立つ



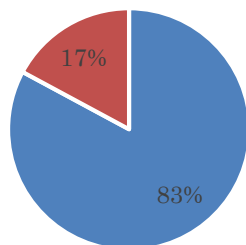
②動線を考えた動き、支点作り
⇒どこにどう移すか決める 膝・腰・肩の安定



③力ではなく、体重や全身で対応する
⇒体を動かす

第 2 回アフターアンケート結果(抜粋)

研修会后、即実践できましたか？



■ 出来た ■ 出来なかった

【なぜ、実践できなかったか理由をお聞かせください。】

・実践できているかわからない ・移乗をするような場面に当たらなかった ・該当症例がいなかったから ・難しかったから

【今後どうすれば実践できると思いますか？】

・何回も練習する ・自分が基本を実行する ・第三者にみてもらう ・色々なケースへの研修があれば良いと思います

《お知らせ》

[地域包括ケア実践交流会

お気軽サミット in 丹後 2017]

平成 29 年 11 月 28 日(火)アグリセンター大宮

第 3 回事例検討会

「当事者の声を聞いてみよう(仮)」

平成 29 年 12 月 15 日(金)

丹後中央病院 にて開催予定!